

(1) 実施機関名：

海上保安庁

(2) 研究課題(または観測項目)名：

海域における地形・活断層調査

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。

(7) 平成 24 年度成果の概要：

南海トラフ海域において、海底地形の調査を実施した。

(8) 平成 24 年度の成果に関連の深いもので、平成 24 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

泉紀明, 堀内大嗣, 西澤あずさ, 木戸ゆかり, 中田高, 後藤秀昭, 渡辺満久, 鈴木康弘, 2012, 150m
グリッド DEM から作成した日本海溝付近の 3D 海底地形, 海洋情報部研究報告第 48 号。

(9) 平成 25 年度実施計画の概要：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形等の調査を継続する。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

海上保安庁海洋情報部海洋調査課

他機関との共同研究の有無：無

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：海上保安庁海洋情報部海洋調査課

電話：03-5500-7125

e-mail：下記URLの問い合わせフォームから問い合わせください。

URL：http://www1.kaiho.mlit.go.jp/

(12) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名：山内明彦

所属：海上保安庁海洋情報部海洋調査課

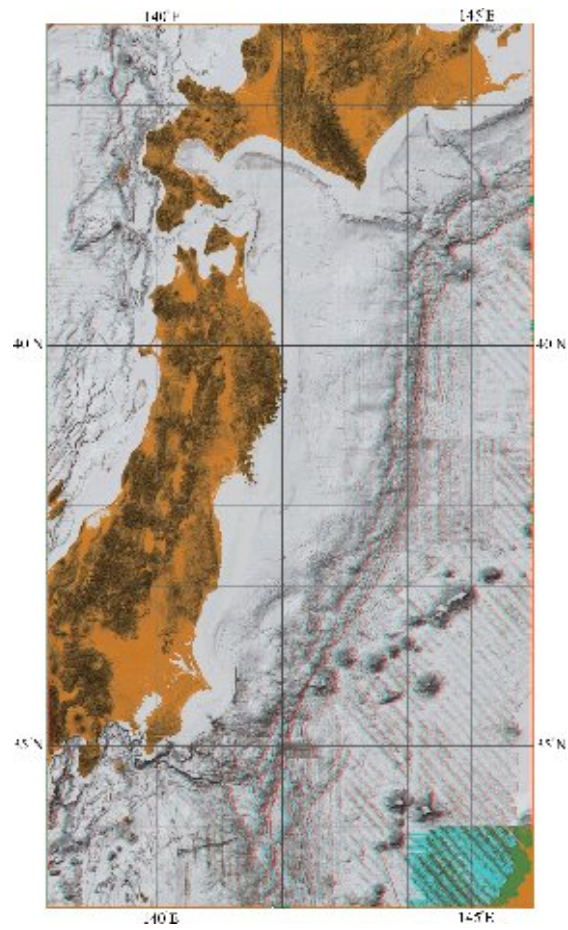


図1 日本海溝と東北日本弧周辺のアナグリフ画像